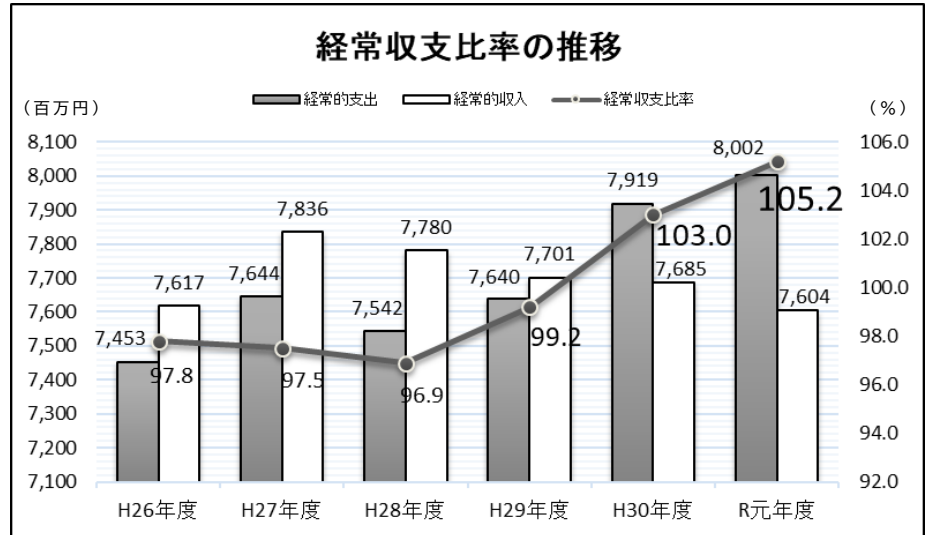


【資料6-1】

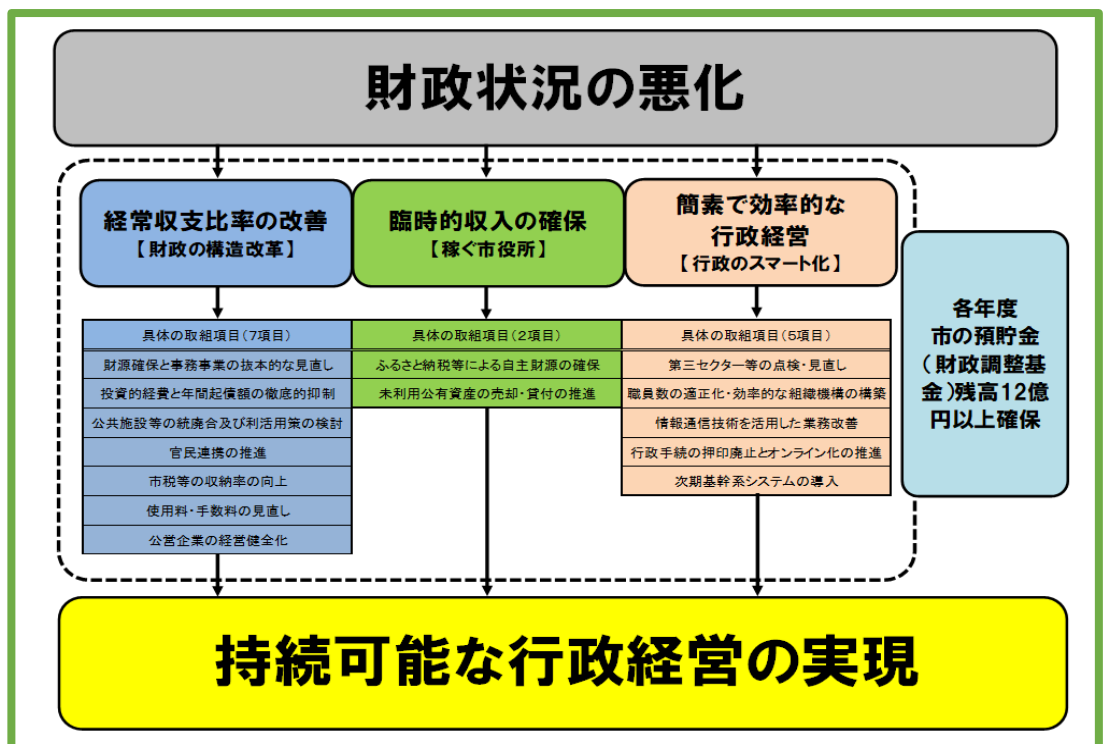
「角田市第5次行財政集中改革プラン」の 成果指標の達成状況等について

1. 「角田市第5次行財政集中改革プラン」とは

本市において、義務的経費（公債費等）の増加、税収等の減を主な要因とし、経常収支比率が悪化している（右図参照。令和元年度では105.2%となり、全国市区ワースト3位となった。）。



本プランは、経常収支比率をはじめとする財政状況の悪化や人口減少・少子高齢化の進展等を背景とする本市を取り巻く諸課題等の解決に向け、全庁的に行財政改革を推進し、持続可能な行政経営を実現するため、次に掲げる3つの取組方針、14の具体的な取組項目等をまとめたプランであり、角田市第6次長期総合計画の指標の一部として位置づけられているものである。



2. 計画期間

令和3年度から令和8年度まで（6か年）

3. 達成状況等

《令和3年度末時点の達成状況別一覧》

達成状況	項目数	割合	取組項目名称
○ 達成	2項目	14.29%	⑧ふるさと納税等による自主財源の確保 ⑩第三セクター及び市の各種団体等の点検・見直し
↑ 達成見込	4項目	28.57%	③公共施設等の統廃合の推進及び廃止後の利活用策の検討 ⑨未利用公有資産の売却・貸付の推進 ⑪職員数の適正化及び機動的かつ効率的な行政組織機構の構築 ⑬行政手続等の押印廃止とオンライン化の推進
↘ 要努力	4項目	28.57%	⑤市税等の収納率の向上 ⑥使用料・手数料の見直し ⑦公営企業の経営健全化 ⑫AI・RPA等のICTを活用した業務改善の推進
－ 算定不能	4項目	28.57%	①財源確保と事務事業の抜本的な見直し※ ¹ ②投資的経費と年間起債額の徹底的抑制※ ¹ ④指定管理者制度の導入等をはじめとするPPP（官民連携）の推進※ ² ⑭自治体システムの標準化を踏まえた次期基幹系システムの導入※ ²
計	14項目	100.00%	

※1 成果指標が令和3年度決算後に確定する数値であり、現時点において成果指標となる実績値が算出できないため、算定不能としている。実績値が確定次第、数値の入力を行う。

※2 成果指標が指定管理者制度の導入、システムの導入であり、現時点では達成状況の基準のいずれにも該当しないため、算定不能としている。

《達成状況の段階別基準》

○ 達成	評価年度の実績値が目標年度の成果指標と同値もしくはこれを上回ったもの
↑ 達成見込	評価年度の実績値は目標年度の成果指標に達していないが、目標年度には成果指標に達することが見込まれるもの
↘ 要努力	現時点において、目標年度の成果指標に達することが難しく、今後、特に重点的な取組を行い、達成を目指すもの
－ 算定不能	現時点において、実績値を把握することができないもの（【例】条例の制定や計画の策定の成果指標等）